

11009その他の鉄鋼業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2019	1	15 ～ 16	工場内で、大型トラックの後ろ扉を取り外して修理していたとき、立て掛けてあった扉が倒れ掛かり、コンクリート地面に腰から転倒した。その際、胸部を骨折し、頭部に挫創を負った。被災当時、ヘルメットを着用していなかった。	62	5	221	1～ 9
2	2019	1	9 ～ 10	工場内で、エアーハンマーの型打ち鍛造しているとき、火ばし（手工具）でワークをつかんでいる最中に残っている火ばし（手工具）が跳ねて手で払おうとし、誤って型の中で挟んで、左手親指付け根を骨折した。	45	7	155	30 ～ 49
3	2019	1	15 ～ 16	工場内にて、2t車の荷台（幅1.6m、高さ約90cm、奥行約3m）の整理作業中、道具箱（縦45cm、横25cm、重さ約7kg）を荷台から降ろすため、アオリ近くまで滑らせ運搬中、誤ってバランスを崩し下りたため、右膝十字靱帯を損傷した。	47	19	416	1～ 9
4	2019	1	16 ～ 17	倉庫内にて、トラックの積み込み作業中、積み重なったH型鋼材から降りる際、誤って枕木に左足を取られ、左足をひねり靱帯を断裂した。	37	19	417	10 ～ 29
5	2019	2	13 ～ 14	工場内で加工用鉄筋を天井走行クレーンで加工機械に移動作業中、鉄骨製の架台に載せていた鉄筋材を玉掛けワイヤーで吊り上げた際、それが架台に絡みクレーンを操作していた被害者の左手に切断したワイヤーが直撃し、左手中指を切断した。	44	4	372	30 ～ 49
			10	トラックコンテナから降りる際、コンテナ出入口で足が滑ってゲー				1～

6	2019	2	11	トに前のめりで倒れ、左足の脹脛部分をコンテナの端にぶつけて左足を負傷した。	54	4	521	9
7	2019	2	21 ～ 22	自社工場内で不要なH形鋼を移動する際、パイプを使ってH形鋼を転がそうとしたところ、予想以上にH形鋼が回転し、左足小指をH形鋼に挟み骨折した。	48	7	521	10 ～ 29
8	2019	3	9 ～ 10	工場内で、門型クレーンで鉄板3枚（約2.5t）を移動しようと吊り上げたところ、クレーンと荷物の重心がずれていたため、積んであった鉄板の間に左足を挟み骨折した。	48	6	211	1～ 9
9	2019	3	10 ～ 11	工場建屋外のスクラバーファンのVベルトを点検交換する際、排気ファンを稼働させたままだったのでVベルトは回転している状態だった。Vベルトの安全カバーを取り外すために持ち上げた際、重みで体勢を崩し、カバーを支えていた右手の中指と薬指がベルトに接触してプーリーとの間に巻き込まれ、負傷した。	58	7	169	100 ～ 299
10	2019	3	16 ～ 17	工場内でガス切断解体作業中、ブレーカーの芯が飛んで膝に当たり骨折した。	51	4	521	10 ～ 29
11	2019	3	9 ～ 10	工場内の鋸切断機で2500mmの長さの製品を半分に切断し、切断した逆の端面を切断するため製品にチェーンをかけ、天井クレーンを巻き上げたところ、チェーンの面がずれてひっくり返し、添えていた左手人差し指にチェーンが引っ掛かり挟まれた。その際、革手袋の上から左手人差し指に損傷を負った。？	42	7	372	10 ～ 29
12	2019	4	8 ～ 9	フォークリフトに積んである箱を回転し停止させた状態で、中に入った金属スクラップをドラム缶に詰め替える作業をしていた。その際、右手にスクラップが落ち、右手人差し指の先端を切断した。	22	8	521	10 ～ 29
13	2019	4	5 ～ 6	被災者はSKP結束機用フープがなくなったので、予備のフープを送り出し装置へセットした。この後、帯鉄カッターでコイルを結束してあった鉄バンド4本の内、1本を切断したとき、切れたバンドが跳ねて左眼に当たり、外傷性白内障を負った。	41	4	521	100 ～ 299

14	2019	4	5 ～ 6	備品（0.3×163、3条取り）をセットし、ライン運転を開始した。 ラインスピード50m/分にて進行中に、カッター入側にセットしてあったワイパー（手袋を丸めて粉取り）の位置を変えようとしたとき、ウレタンライナーに巻き込まれた。その際、右手指を負傷した。	40	7	159	100 ～ 299
15	2019	5	13 ～ 14	スクラップのH鋼をクレーンでトラックに積み込み作業中、1本が崩れて足に当たり右大腿骨を折った。	67	5	521	10 ～ 29
16	2019	5	14 ～ 15	溝の清掃中、誤って会所に落ち、そこに溜まっていた雨水が口に入った。	40	1	418	1～ 9
17	2019	5	9 ～ 10	工場内で、アルミ鋳造品の鋳造のため、アルミ揚湯を鋳造機へ長さ1mの杓を使って流し込む作業をしていた。杓をもっていた両手の右手が滑り、その反動で杓に入った揚湯が右掌にかかり、右手に火傷を負った。	22	11	364	10 ～ 29
18	2019	5	15 ～ 16	トラックの荷台上で積み込み作業中、荷物の上を歩行移動中、踏んだパソコンが動き、バランスを崩し右足首を負傷した。	48	19	416	10 ～ 29
19	2019	6	14 ～ 15	工場内で品物を台車に載せたときにバランスを崩し、台車を倒して下敷きになり、右中指を骨折し、両手関節に挫創を負った。	52	6	362	1～ 9
20	2019	6	13 ～ 14	コンテナの洗浄中、階段を下りたところにホースがあり、ホースを踏んで右足を挫き、右足小指を骨折した。	48	1	529	100 ～ 299
21	2019	6	10 ～ 11	倉庫にて、鋼材（角パイプ5cm×10cm×8m、厚さ6mm、重さ98kg）を出荷するため、クレーンによる荷揃え作業中、クレーンで持ち上げた際、角材が折れ、鋼材（角パイプ）が約1m下に落下し、右足に	60	4	372	10 ～ 29

				当たり、右足甲（安全靴着用）を骨折した。				
22	2019	7	9 ～ 10	物流センター内でトラックから荷を降ろしていたとき、トラックの昇降台が下まで下がっていなかったため、カゴ車が倒れた。その際、被災者も一緒に転倒して、腰部を骨折した。	18	19	521	1～ 9
23	2019	7	14 ～ 15	回収したドラム缶を移動しようとふちを持った際に、鋭利な部分に右手人差し指内側が当たり革手袋を着用していたが切り負傷した。	48	8	521	1～ 9
24	2019	7	11 ～ 12	鉄スクラップのトンネルの支柱、重量約60kgをガス切断解体中、切断したチャンネルが自分の方に倒れて左足の甲に当たり、左足小指を骨折した。	43	5	521	30 ～ 49
25	2019	7	14 ～ 15	10mの長尺の鉄筋12本を加工台に載せて曲げ加工をした後、玉掛けをして台から吊り上げた。その際、鉄筋の束に手を添えようとして、掴むように触ったため右手指先を挟み、右手中指と人差し指の先端を切断し負傷した。	32	7	211	10 ～ 29
26	2019	7	17 ～ 18	洗濯機の手解体中、両手に腱鞘炎、左手首に関節炎となった。	23	19	391	30 ～ 49
27	2019	9	10 ～ 11	コンビニエンスストア駐車場で、15tトラックに積んだ自動販売機のロープを締め直していた。その際にバランスを崩し、アスファルト地面で左足首を捻挫し、靱帯を損傷した。	38	2	417	50 ～ 99
28	2019	9	11 ～ 12	作業場内で冷蔵庫保管用ラックの扉を閉じていたところ、ロックが上手く掛からず、しゃがんで作業をしていた。そのとき他の冷蔵庫ラックを運んでいたフォークリフトが後ろからきて、ラック同士の間でしゃがんだ状態で挟まり左膝などを負傷した。	30	6	222	10 ～ 29
29	2019	9	11 ～ 12	工場の駐車場で金属スクラップの入った鉄の箱をトラックの荷台に積んでいたときに、鉄の箱にコロが付いていたためトラックの荷台から鉄の箱が落ちそうになった。とっさに手で押さえようとした際	33	4	611	10 ～ 29

				に鉄の箱が足の上に落下して、足の指を骨折した。				
30	2019	9	11 ～ 12	工場内で鋼材を裏返そうとしたとき、製品と作業台の間に左手中指を挟み負傷した。	29	7	521	30 ～ 49
31	2019	9	15 ～ 16	製品を切断後の端板を、切断架台からハッカーを使用し置き場に移動させ、端板の上に盤木が2本ある上に置いた。一度ハッカーの爪4本を外し、向かって左外側にハッカーの爪体を掛け少し上げた状態で、右手を中に入れ手前の盤木を抜き取ろうとした。そのとき、ハッカーの爪から端板が外れ、盤木の上部付近にあった人差し指が盤木と端板に挟まれ右示指を骨折、挫滅傷を負った。	26	7	521	100 ～ 299
32	2019	10	15 ～ 16	廃棄車両の集荷先で、4tユニック付きキャリアカーで廃棄車両（軽トラック）を吊り上げたとき、ワイヤーを掛けた箇所が腐食していたため外れ、約2mの高さから落下した。その際、車両の下にいた被災者が下敷きになり、腰を骨折した。	42	6	212	30 ～ 49
33	2019	10	10 ～ 11	製鋼所で、横向きに置いてある取鍋を、クレーンで吊り上げて直立させようとした。その際、取鍋に付いているストッパーのアーム部分が引っ掛かったが、それに気付かず右手を出したところ、アームが勢いよく下がってきて右手親指と人差し指を挟み骨折した。	34	7	612	100 ～ 299
34	2019	10	11 ～ 12	電動ハツリハンマー（約6kg）を持ち作業中、ハツリポイントを変更するためハツリハンマーを下ろした際、急に腰が痛くなり腰椎を捻挫した。	52	19	169	10 ～ 29
35	2019	11	11 ～ 12	作業場内でショット作業中に足を滑らせて転倒し、ショット機の投入機（鉄製）の角で頭を打った。およそ1か月後に右足が動かしくらくなり、硬膜下血腫を起こした。	60	2	417	10 ～ 29
36	2019	11	2 ～ 3	金属粉末を梱包したカートン（約25kg）をパレットに積む作業中、高さ80cmの作業台から地面のパレットにカートンを積み込む際、腰を負傷した。	25	19	611	100 ～ 299

37	2019	11	13 ～ 14	タンク状の鉄スクラップをガスにて切断していた。その際、タンクの下側に粉状の金属があり、ガスの火を当てたところ金属が勢いよく燃え出した。頭部には防災頭巾を被り、防護面を使用して作業していたが、防護面の下部より熱風が入りこみ、防災頭巾から露出していた鼻周辺の顔面に火傷（レベル2）を負った。	46	11	331	1～ 9
38	2019	11	16 ～ 17	工場内にて、固定式の大型ベルトサンダーを用いて製品の仕上げ研磨の作業中、右手に持っていた製品とベルトサンダーの研磨版との間に、誤って指が挟まり、右親指を切断した。	54	7	153	10 ～ 29
39	2019	12	7 ～ 8	スクラップ加工ヤードで、クレーンに乗り込むため工場の壁に設置されたはしごを登っていた際、足を踏み外して落下し、頭部と胸部を骨折した。	45	1	371	10 ～ 29
40	2019	12	11 ～ 12	工場内で品物を製作中に品物が倒れた際、品物に右袖が引っ掛かり、そのまま床面定盤と品物の間に右手が挟まり骨折した。	45	7	521	1～ 9
41	2019	12	18 ～ 19	解体用掴み機パワーシャベルから降車する際、カープレスを足場代わりにして右足をついたところ、挫いて転倒し骨折した。	43	1	149	10 ～ 29
42	2019	12	14 ～ 15	工場にて、材料を運搬中、マグネットの吊具を使い材料を降ろす途中、マグネットから材料が落下し、指を挟み、左手薬指を骨折した。	30	4	372	10 ～ 29
43	2019	12	8 ～ 9	4t車に装備してあるヒアブ（つかみ）を使用して、スクラップの積み込み作業中、手元の作業をしていたが、ホイール等の小さなスクラップをヒアブの中に入れ、ヒアブを締める作動の際、ヒアブの爪が早く締まり、右手の平を負傷した。	22	7	145	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。

